

2014年04月01日

JVN が脆弱性の深刻度評価尺度表示に国際標準の共通脆弱性評価システム (CVSS) を採用

一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター

本日、一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンターは、日本で使用されているソフトウェアなどの脆弱性関連情報とその対策情報を提供する脆弱性対策情報ポータルサイトである JVN に、2014年4月1日の公表分から、脆弱性の深刻度の評価尺度表示に国際標準の「共通脆弱性評価システム(CVSS : Common vulnerability scoring system)」を採用することを発表しました。

JVN (Japan Vulnerability Notes) では、2007年のサイトデザインリニューアル以降、公表される脆弱性情報に「JPCERT/CC による脆弱性の分析結果」を掲載してきました。これは、脆弱性の深刻度を、4つの評価尺度を使って多角的に分析し、レベル付けすることによって直観的に解りやすく製品利用者にお伝えすることを考慮したもので、脆弱性対策を立てる際の参考情報として活用いただいております。

脆弱性の深刻度の表示では、近年、国際的に利用されている CVSS 2.0 の普及が進んでいることにも配慮しつつ検討の結果、JVN でも、深刻度の表示を従来の方式から CVSS 2.0 に切り替える方針とし、本日4月1日以降の公表から新方式に移行することと致しました。

主な変更点の詳細は次のとおりです。

- ・深刻度の表示に、国際的に利用されている CVSS 2.0 を採用
- ・単なる Base Score 表示だけでなく、直観的に理解出来る評価値表示を採用
- ・従来のレベルメータに模した評価値表示を廃止

JVN <https://jvn.jp/>

今後とも JVN をご活用いただければ幸いです。

■お問い合わせ先

JPCERT/CC 事業推進基盤グループ 広報江田

Tel: 03-3518-4600 Fax: 03-3518-4602

E-mail: pr@jpcert.or.jp